

2024 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

I. 事業の成果

1. 組織の運営

実績	成果・課題
1. 会員数：運営会員 21(21)名、賛同会員 100(101)名 2. 寄付件数は 21(14)件 () は昨年度の会員数	会員数は、未納者も含んでいる。 寄付件数は昨年より微増しているが、賛同会員数を増やせなかった。
<事務局> ・事務局 19 名（うち四街道市みんなで地域づくりセンター6 名、2025 年 3 月 3 名退職）、富里 1 名、おおなみなみボランティアスタッフ 4 名で運営 ・退職者 4 名、新規採用 3 名 ・Microsoft365 を導入し、データの保守管理の向上や業務の効率化を進めた。 <総務関係> ・労務担当水上さんから平井さんに 10 月から業務引継ぎを行い、水上さんは 3 月末で退職。 ・2024 年度理事会は、第 3 木曜日 15:00~17:00 5 回（7/26, 9/19, 12/26, 3/27, 5/15）オンラインで開催しました。	

2. 相談事業・NPO の支援事業

① 相談事業

実績	成果・課題
事務所での相談は 28 件、四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談は 116 件、年間で 144 件の相談件数	・「明確な規定」では判断できない、事業の対価性が低い等、NPO の特性による相談内容が多くなっている。税理士や社労士の方にも相談し、特性を理解した丁寧な回答を行った。 ・事務所での相談は、電話、メール等での軽微な相談が記録に残せていない。

② 講座事業

実績	成果・課題
1. ちばし地域づくり大学校事業 令和 6 年度地域人材育成事業として受託、実施。ステップアップコース 18 名（定員 20 名）、入門コース 23 名（定員 30 名）、基礎コース 2 クラス 24 名（定員 40 名）で実施した。勝部麗子さん（豊中市社協）を講師として、「ひとりぼっちをつくらない～すべての人に居場所と役割を～」をテーマにキックオフ講座を開催。9 月～2 月の間に 11～14 回の講座を連続開催し、地域づくりの人材育成につなげた。 ・入門コースと基礎コースでは、地域の活動団体でのボランティア体験プログラムも組み込み、座学で学ぶ⇒実際の活動に参加する⇒	・全体として定員に満たない状況での開催となった。依然として受講者確保が課題。 ・修了者の中には、こども食堂を始めた人やシニアリーダーや実地体験先で活動を始めた人もおり、地域づくり人材の確保につながっている。おおなみなみで定期的に講座を開催している修了者もあり、修了後も関係が続いている。

今後の活動についてのイメージづくりをする、といったカリキュラム設定をしている。 ・ステップアップコースでは、「円滑な団体運営のためのファシリテーション」「資金調達」「広報」をテーマに外部講師を依頼し専門性を持った内容で開催するとともに、団体の次のステップにつなげるプランづくりを行った。可能な講座はオープン講座として、入門コースや基礎コースの希望者も参加可とし、コースを越えての学びと交流を促した。 ・全クラスの受講者のうち希望者を対象にオープン講座として「千葉市の補助金・助成金情報」と「SNSの活用」講座を開催。	
2. 千葉県市民活動団体マネジメント事業 (団体運営の基礎) 千葉県事業として受託実施、4回の講座を開催。団体の基盤強化、運営力向上につなげる内容で、外部講師を依頼し専門性を持った内容で開催。受講者数延べ159名。講座満足度で満足との回答は91%。 9/14 団体の未来をつくる事業戦略づくり～人材育成と担い手確保のために～ 講師：松本祐一さん 10/17 NPOの労務講座 講師：石井敏則さん 11/6 NPOの日常会計処理講座 講師：加藤達郎さん 11/20 NPOの年度末会計処理と事業報告書作成講座 講師：脇坂誠也さん	・4講座中3講座は、定員に届かない受講者数での開催となった。当日参加での受講だけではなく、後日視聴も可としたことで、受講のハードルが下がったが、対面、オンラインでの参加者数が減少傾向になっている。講師との質疑応答で理解を深めるといったことや、受講者間での情報交換や交流を促すといったことができにくくなっている

③ 講師派遣

NPOと行政との協働や団体のマネジメント、市民の地域づくり活動への参加等についての講座の企画、講師を派遣した。 ・千葉市緑区、千葉市花見川区、千葉市中央区地域活性化支援事業助成対象団体研修（各1回） ・とみさと協働塾（4回連続講座） ・佐倉市根郷地区社協ちょこっとサービス勉強会 ・淑徳大学「地域づくり、ボランティア」講座講師 ・浦安市市民大学講師

3. 被災地・被災者支援事業

① 福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業（福島県県外避難者相談センターちば）

実績	成果・課題
【相談対応】 電話・対面相談を実施 電話による相談 延べ63件、戸別訪問 延べ124件、来所者6名 【県内自治体との連携・調整】 茂原市、大網白里市、東金市、山武市、木更津市、市原市、千葉市、柏市、南房総市、館山市、千葉市6区 【県内支援組織との連携】 6月・9月・12月・3月情報交換会・実行委員会を開催。 【交流会】 6月 いけばな体験交流会（鎌ヶ谷市） 9月 ポーセラーツ体験交流会	(相談) ・避難元の土地について今後どのようにしたら良いか？悩んでいる。 ・墓地移転をしたいがどういった手続きが必要か？どのくらいの費用がかかるのか？等の相談があった。 (訪問) ・高齢のひとり暮らしの方に訪問が多かった、話し相手がおらずさみしい。 (自治体) ・相談先あることが分かって良かったとの声があがった。今後の連携・協力につながると感じた。

10月 縁 joy 交流会 2月 押絵体験交流会 【情報紙】 縁 joyVOL. 97～VOL. 102 隔月6回、2000部発行。被災元自治体から避難者に送付された。	(交流会) ・当事者が講師となり交流ができたので良かった。参加者から楽しい、またやってほしいとの声が上がった。 (情報紙) ・交流会に初参加された方が情報紙を見てきましたとのこと、情報を送り続けてきた成果を感じた。
---	--

②福島県避難者住宅確保・移転サポート業務

実績	成果・課題
・7/22 発表 令和8年3月31日までに応急仮設住宅無料措置の終了知らせを受け、大熊町、双葉町から避難されている方からの相談が入る可能性がある。 ・3/19・3/27 戸別訪問 東金市 1人暮らし女性70代 大熊町から避難中、住宅無料措置終了になることから息子がいる福島県内に引越し希望。	・応急仮設住宅無料措置の連絡が入ったことで福島県に連絡が入ったとのこと、今後も相談が増えるのではないと思う。

③被災地・被災者支援活動

実績	成果・課題
・災害支援ネットワークちば（CVOAD）の事務局および世話人を2023年度WAMU助成報告書提出後、5月末にて辞退した。 ・千葉県災害ボランティアセンター連絡会にオブザーバーとして継続参加。 ・5/29-30に被災地（珠洲市、七尾市、穴水町）に出向き、被災した福祉施設や被災地で活動する団体にヒアリングを行い状況把握と支援内容を検討。7/12（水）に災害支援わいわい会議、11/ にセミナー「能登の今を知り、千葉から支援につなげる」を開催、7/27（土）住友重機販売会および11/16（土）ちばユニバーサル農業フェスタで福祉事業所の物販を行った。	・能登半島地震・豪雨被災地の支援は、継続したいが、直接的な支援は難しい。県外支援の形・内容をどうするか、県内の災害に備え、NP0クラブとしてこういった体制が取れるかが課題。

4. 地域づくりのコーディネート事業

①四街道市みんなで地域づくりセンターの運営（地域づくりコーディネーター業務委託事業）

実績	成果・課題
概要： 開館日 219日（休館日の開館2日含む） 打合せ・相談延べ人数 1193人（1日当たり6人） みんなのテーブル利用 693人/88団体 講座開催 23回（参加人数358人※アートWS 219人含む） 新着情報 457件 相談件数 116件（2022は89、2023は99件） ※今年度から市に方針で「来館者数（講座参加者含む）から「打合せ・相談等延べ人数（講座は含まない）」にカウントの方法が変わった。	・今年度1年随意契約で、次年度も同様（課でもう1年方向性等を検討する） ・年度末にそれぞれの事情でスタッフ3名が退職。スタッフ確保が課題。 ・相談件数が増加（特にコラボ四街道申請に関する相談が増加）
1. みんなで地域づくりセミナー ・6/14 チラシ持ち寄り大会「あなたのチラシ、それでいいの？」 参加5人 他チラシエントリーのみ8人 〈コラボ四街道申請と採択後の支援〉 ・9/24 コラボ四街道の説明会 参加8人 ・10月～締め切り申請に関する個別相談会 11件/7団体	・コラボ四街道の申請支援を行い、R7コラボ四街道4団体採択（5団体申請）となった。 ・さとのたね・ユニバーサル工業フェスタ（2回目）あじさいプロジェクト・みんなの教室

・12/12 コラボ申請団体向けパワポ講座 5 団体 7 人 ・1/21 プレゼンリハーサル 7 人 ・個別相談 2/1, 2/6, 2/13 ・2/10 パワポ資料提出 2/17 日 公開プレゼン(審査)	・スタッフも含め、地域の団体が市民活動の基礎を学び、運営の基盤を強化することが課題。
2. 地域支えあい推進会議への参画、関係機関との連携 ・四街道の支えあい 100 人情報交換会⑥⑦ 主催：地域包括支援センター(社会福祉協議会) 協力：医療法人社団まごころ、みんなで地域づくりセンター ・9/1⑥「～孤立、孤独から繋がりささえあう地域へ～」 ・3/10⑦認知症になっても安心なまち四街道を作ろう ・畑楽農園での活動(みらくる農園) くらしサポートセンター「みらい」、地域包括支援センター、障害者相談支援「ひだまり」の支援者などが、社会参加の第 1 歩を踏み出す場所、自分らしく自然体で過ごせる場所として活動を始めた。月 1 回。 ・3/13 52 間の縁側のいしいさん家見学 高齢者支援の活動をする市民、地域包括支援センター、くらしサポートセンター「みらい」からも参加 12 人	・地域包括支援センター、くらしサポートセンター「みらい」、障害者相談支援事業所ひだまりなどの情報交換を行い、連携・協力が進んだ。 ・連携から「みらくる農園」という畑での居場所づくりができた。 ・老いや障がい、子ども、大人、支援する側、される側の壁がなく日常を過ごす施設の思いや仕組みを知り参加者がそれぞれの場で生かせる
4. みんなのアート ～アートで地域づくり～ 「みんなでつくろう四街道マップ」 子ども、障がい者、高齢者などだれでも楽しめるアートを通じて、地域づくりに参加する機会を提供する。 ・四街道高校美術部(背景画) 四街道特別支援学校(地名プレート)等との連携、WS 等で 500 人を超す参加 ・市役所玄関展示 ・1/28～2/3 千葉そごう(部分) ・2/6～特別支援学校展示	・アートを通して、学校との連携や、多くの人が地域づくりへの一歩に参加する機会となった。
5. 子ども支援ネットワーク ・子ども食堂：立ち上げの食堂のサポートや進捗について情報収集、LINE を使ってネットワークのサポート ・12/7 「発達なんでもおしゃべり会」参加 2 人 ・2/26 こども支援交流会 子育て支援課：こども家庭センター設立について 各団体や個人の活動紹介、自由交流 参加 22 人(他 子育て支援課 2 人、みんなで課 2 人) 感想：他の団体とつながることができた/参加して次のステップに進めた	・市内の子ども食堂の緩やかなネットワークが立ち上がり、今後の運営が検討課題。 ・市民にも知ってもらう場として、次年度、子ども食堂を紹介するフェア、印旛地区の子ども食堂との連携を図り、安心安全な居場所づくりの講座を企画した。
6. みんなで災害支援ネットワーク ・6/19「避難所でのペットの受け入れ方講座」参加 27 人 ・2/12「あるといいよね！避難所運営委員会」避難所開設・運営意見交換会。和良比小運営委員会と敬愛高校の運営委員会準備会の事例。参加 33 人(危機管理室 3 人、社会教育課 1 人、みんなで課 2 人 スタッフ 4 人) ・コアメンバー会議で、ネットワークの進め方検討した	・災害支援、特に避難所の課題について研修を 2 回行い、市民の関心が得られた。 ・災害支援ネットワークは、支援のリスト化と、交流会などを開き声を掛け合える関係を気付くことが課題。
7. 第 24 回福祉施設紹介・販売フェア「大きなテーブル」 ・4/18 福祉作業所 販売基礎研修 主催：千葉県障害者就労事業振興センター 協力：みんなで地域づくりセンター 参加 17 人 ・5/18 第 24 回大きなテーブル 主催：実行委員会(センターは事務局) 出展：25 ブース(福祉 19 団体、協賛団体 7 団体)	・販売や陳列の基礎を学ぶ機会を持ち、大きなテーブルの開催時にブースの陳列などが改善され販売が促進された。

来場者：1150 人 売上総額 854,210 円（昨年 81 万円）	
8. ちばユニバーサル農業フェスタ 11 月 16 日（土） 地域の連携を進める事業としてコーディネートする 主催：実行委員会 事務局：地域創造ネットワークちば（センターは現地事務局 団体をコーディネート） 来場者数：1100 人 売上合計：1,144,080 円（昨年 94 万） 出展ブース数：33 ブース	・産業振興課、廃棄物対策課も出展。高校生、大学生、一般ボランティア 17 人の協力。クイズラリーでユニバーサル農業を学ぶなど工夫された。
9. 情報発信 ・8/1 市政だより掲載：コラボ四街道採択 3 団体事業紹介 ・11/15 市政だより掲載：センターの取り組み紹介 ・3/1「みんなで」こども食堂特集号 ・ホームページリニューアル ・Facebook いいね 908 フォロワー1116 年間投稿 168 件 インスタフォロワー246 件 ・団体基本情報 74 団体（解散や連絡取れない団体で減） ・そごう展示（1/27 展示）1/28～2/3	・HP リニューアルに時間がかかったが、スタッフが更新できるようになった。SNS での発信は活発に行われた。 ・必要に応じたメールの活用、団体基本情報の活用（呼びかけ・活動の把握）を進めることが課題。
10. その他 <大学との連携等> ・愛国学園：大学生も地域と繋がろう！プロジェクト」、後期 ひみつのおしゃれ工房の広報協力 振り返り 1/23 ・淑徳大学：みんなで地域づくり推進プロジェクト（学生が団体の活動に参加）成果発表会 1/28	・これまでの取り組みから、次年度は、淑徳大学との連携で、センター事業に企画から関わり学生の意見を地域づくりに活かす取り組みにつながられた。

②多世代交流拠点「おおなみなみ」運営事業

実績	成果・課題
開設から 10 年が経過、5 名のボランティアスタッフとともに運営を継続、平日 シニア層を中心とした地域の居場所となっている。	・「なくなったら困るから」といった声が多く聞かれるようになり、地域の高齢者の暮らしの支えになっていることが実感できる。一方で子どもの来所が減ってきている。
・健康貯筋体操、アイチ体操、おとなのための英会話講座を継続開催。 ・「編み物サークル」「折り紙講座」等、主体的に活動するグループが増えた。 ・「青空市」を開催（7 月、3 月）。生活クラブ虹の街から「子ども食堂」運営のための助成金 2 万 8 千円の助成を充当。 ・JFSA との協働で「リサイクル衣料品の回収と販売会」を 4 月と 10 月に実施した。 ・県内の 5 福祉事業所の協力を得て、物品の受託販売を実施した。 ・「ロボットプログラミング」講座の会場等、スペース貸しにより運営費の確保ができた。 ・「すくすく広場」子育て支援企画として 3 月より月 1 回で開始。	・ボランティア講師の力が大きい ・開催形態を工夫しながら、交流・支援の場を設定できた。運営費に充当するとともに、物品の販売を通して、それぞれの事業のアピールができた。

③八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業

1. コーディネーター会議の開催 ・市担当者、コーディネーター 4 名で毎週（全 50 回）開催、相談案件検討、企画提案、広報活動の進捗管理等を話し合った。 2. 情報提供 ・ニュースレター 4 回発行 区長回覧、学校回覧、機関設置/2,800 部 No.4（6 月号）「みとめあい 協力しあうコミュニティ」	・開設 3 年目となる R7 年度が予算削減（▲50%）のため、コーディネーター 1 人体制/日。 ・毎月 1 回のコーディネーター会議、オンライン情報共有会、
--	---

No.5（9月号）「協働による安全安心なまちづくり」 No.6（12月号）「八街のいいねを語ろう会」開催報告 取組み4事例紹介「今後の自治会活動の可能性」 No.7（3月）「アート・文化でまちを元気に」八街ミュージアム、駅ピアノ、歴史発見ノルディックウォーク、八街神社大祭。 ・メルマガ毎月配信。PIT 活動案内、助成金情報の提供、登録者：82人 ・八街市ホームページ内にPiT ホームページを8月に開設、団体登録システムは次年度4月スタート計画。協働コラム掲載する。 3. 情報収集 ・食でつながる八街こどもプロジェクト「みらい」会議、八街市地域ケア会議、協働推進委員会等への出席で関係各課と情報を共有した。 ・千葉県主催中間支援組織研修会への参加。 4. コーディネート・ネットワーキング ・八街のいいねを語ろう会 10/19 参加：56名、区長会勉強会と共催4事例報告とグループトーク ミュージックフェスティバルから文化祭へ（文違区 ひじかい） 笑顔になれる新形態の倶楽部活動（富山婦人会） 移動支援サービス（みどり台自治会） 防災プログラムと会報誌の発行（八街一区11町会） ・七夕交流会 7/6 参加11名 ・まちづくりわくわく交流会 12/14 参加17名 5. 人材育成 ・地域力向上スクール ・2/1 キックオフ講演会「団体の未来をつくる事業戦略づくり」 松本祐一さん（NPO 法人 NPO サポートセンター） 24名 ・スクール3回連続 ①2/8（7名）、②2/22（10名）、③3/8（8名） ・協働のまちづくり講演会 講師：関谷昇さん 2/15（土）48人 4事例発表：農仲舎、ぷれっくす子供会、駅ピアノ、ラーメン祭り 6. 相談対応 ・シニア食堂をやりたい、中・高生の居場所でeスポーツ交流のための資金調達、地域で制度につながらない高齢者、こどもの相談事業を始めたいので情報がほしい等活動基盤の強化につながる相談が目立った。	LINEWORKS 活用でアドバイザー担当となった。事業計画は同様の内容であり、人的資源が追い付かない不安がある。 ・相談対応では、県内の助成金を紹介し、申請書の書き方のアドバイスをを行った。いくつかの団体で採択につながった。
--	---

④SAVEJAPAN プロジェクト事業

実績	成果・課題
・おしどりの里を育む会（富里市）を実施団体とし、現地事務局（佐藤恭子さん）と雇用契約、広報、進捗管理、参加者アンケート報告等を担当した。実施期間は 2024/10 月～2025/9 月、事業費：150 万円 ・12/1 もみじ狩りと植生調査 地域住民等 子ども、地権者、町内住民、他団体等 105 名参加 豚汁、そば、焼き芋などで楽しいイベントとして定例 ・2/26 次年度活動の打合せ、斜面の整備活動	・大型草刈り機、テント、PC、団体リーフレット作成に助成金を活用したことで、住民が多く参加するイベント開催が充実した。 ・団体は毎週、里山の整備を実施し、地域住民にも愛着を持たれている。

⑤プロボノ事業

実績	成果・課題
1. プロボノ情報交換会を実施 5/12、幕張公民館 「ちばプロボノ」のプロボノワーカー経験者が11名参加	・プロボノ経験者の情報交換だけでなく、習志野市事業への協力も

プロボノワークショップ、2025 年度事業説明を行った	得られ、円滑な事業実施につながった。
2. 習志野市市民協働型委託事業 「ならしのプロボノチャレンジ 2024」 ・団体募集説明会の実施 7 団体 9 人参加 (オンライン実施含む) 7/11(木) プラッツ習志野 7/21(日) 習志野市役所 プロボノワーカー経験者が各日 2~3 名参加し、ヒアリング ・社会人ボランティア募集説明会の実施 参加者計 43 名 (8/10 対面 5 名、8/23 オンライン 16 名、追加オンライン 6 名、録画視聴 16 名) プロボノワーカー経験者が各日 2~3 名参加 ・プロボノワーカーのためのオリエンテーション 9/8 18 名参加 ・活動報告会を公開実施 2/11(火・祝) プラッツ習志野/Zoom のハイブリッド実施 参加者計 37 名 (うち 9 名は一般参加、会場 28 名、Zoom 9 名) 6 チームからの発表、プロボノワーカーにまちづくり参画証を授与。各チーム活動報告資料と全体報告は市 HP に掲載 ・プロボノ参加は、6 団体、19 名の社会人ボランティアでチーム編成をして実施。以下、参加団体名と取り組み内容。 ①NPO 法人ならしの子ども劇場 (GoogleWorkspace 導入と活用講習) ②NPO 法人傾聴グループぬくもりほっとらいん (映像作成支援と講習) ③earth FUNTRY! <アース ファントリー> (ロードマップ作成のためのワークショップ実施) ④ならしのまち歩きコンシェルジュ (全国の他地域のまち歩き事例の分析・考察からの提案) ⑤津田沼北部連合町会 (ホームページ作成と担い手掘り起こし) ⑥習志野市 e-sports 協会 (次年度以降のイベント企画提案)	・社会人ボランティアは現役世代の参加者が多く、ターゲットとしていた層の掘り起こしが一定できた。また団体メンバーの多数の関わりがあったチームでは、団体の運営基盤強化につながった。 ・協働事業として、市の担当課と密接に連携し役割分担しながら進めたので、市の状況に添った形で実施できた。参加団体が当初目標の 5 団体を上回り、全チーム完了することができたが、根深い団体課題にプロボノでアプローチする方法は今後の課題。 【完了後アンケート結果】 団体メンバーの 95% プロボノワーカーの 89% が 「参加してとてもよかった、よかった」と回答。 プロボノワーカーの 94%が、「また活動したい、やや活動したい」と回答。一定の満足度を双方から得られ、次につながる内容になったと思われる。

⑥千葉県地域ボランティア活動環境整備事業

実績	成果・課題
ボランティア活動をしたい人が、気軽に地域における活動に取り組むことができるよう、ボランティアと受入団体のマッチングを図るサイト『ちばボラナビ』の活用を推進。受入団体の開拓・支援やボランティアの魅力を感じることができる体験会の開催などにより、ボランティア活動の促進・定着に向けた環境の整備を促した。 ・「ボランティア体験受入」4 団体 ①NPO 法人 Drops (7/20) 『学園通りの整備活動』 ②認定 NPO 法人 NPO 行徳自然ほごくらぶ (9/28) 『稲刈り、はさがけボランティア』 ③NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団 (11/10) 悪天候中止『沖ノ島学びのプロジェクト』 ④NPO 法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会 (JFSA) (12/15) 『パキスタン・タイに送る古着等の選別作業体験』 ・伴走支援 (8 ステップに沿ってサポート) 6 団体 ①一般社団法人フィールズ・フィールズ 課題：定着したボランティアの募集	受託団体である NPO 法人サービスグラントとの連携・協力事業として実施。NPO クラブのこれまでの活動でつながりのある団体を対象に事業を実施、新たな視点での支援につながった。 事業の実施を通じて、これまで交流の少なかった県内の中間支援組織で活動する「コーディネーター」7 名と新たなつながりを築くことができた。

②NPO 法人緑の環・協議会 課題：定着したボランティア募集 ③NPO 法人あすみが丘国際交流 課題：イベント運営におけるボランティアの配置、役割分担 ④earth FUNTRY! 課題：ボランティア募集と広報 ⑤NPO 法人 Drops 課題：ボランティア募集とちばボラナビを使っの広報 ⑥NPO 富里のホタル 課題：近隣住民のボランティア募集	
--	--

5. 市民活動・市民事業に関する情報の収集及び提供（広報事業）

実績	成果・課題
＜紙媒体による情報発信＞ ・ニュースレター「つぎの一步くん」82～84号を各800～1000部発行。講座チラシ、寄付月間キャンペーン（12月）のチラシ等とあわせて、配布、配架依頼。（会員、県内外の市民活動センター・中間支援団体等） ・「市民活動マッチングカタログ2024」（千葉市市民活動支援センター発行）に団体紹介を掲載。 ・千葉市市政だより・広報習志野への掲載や自治会回覧、生活クラブ情報紙「コルザ」掲載、ポスティングなどでの周知活動（ちばし地域づくり大学校等） ・マネジメント講座の対象団体への周知ハガキ発送（150件×2回） ＜メールによる情報発信＞ ・メールマガジン「通信・一步くん」No. 480～497, 特別号を会員、講座受講者などに適時配信。（年間18回配信、登録者数は671名） ・講座、大学校の案内メールの送信（メールマガジン登録外の約220団体） ＜団体のホームページ、ブログ、SNS等による情報発信＞ ・団体ホームページ、団体ブログ「NPOクラブこんなことあんなこと」「縁 joy 東北～エンジョイ東北」、団体のFacebookページ、Facebookグループ、Xを使って、団体情報を適時更新。 ・ちばし地域づくり大学校、SAVE JAPAN プロジェクトのホームページ、おおなみこなみ Facebook ページで各事業の情報を発信	・ニュースレターでは、福島県事業などの団体の活動のほか、人材育成・担い手確保といった課題や地域自治などをテーマに、まとまった文章で伝えることができた。 ・自主事業の支援をお願いして実施した寄付月間キャンペーンでは、期間中に9件のご寄付をいただき、お礼の葉書で感謝を伝えた。残念ながら、会員増には及ばなかった。 ・メールマガジンでは、掲載希望を募るなど広く情報収集し、頻度をあげて情報発信でき、周知につながった。
＜その他の情報発信＞ ・千葉市、習志野市、船橋市の担当課、関連機関に広報協力を依頼。大学校、プロボノ、講座の受講対象者の掘り起こしを行った。 ・千葉日報社の千葉の情報ポータルサイト「ちばとぴ！チャンネル」の「CHIBAKARA～ちばからチャンネル」で記事を適時更新 ・ちばボラナビ、チーム千葉ボランティアネットワーク、GRANT、activoなどのポータルサイトで各募集情報を発信 ・生活クラブのグループ学習会、虹色フェスタで活動紹介 ＜メディア掲載＞ ・ちばし地域づくり大学校の紹介「ちばとぴ！チャンネル」、コミュニティFMラジオ(sky wave) ・そごうギャラリー写真展「忘れない東日本大震災ーあれから14年」の紹介記事 千葉日報のネットニュースからチバテレ、Yahoo、docomo、goo、oriconなどの千葉のニュースとして二次配信あり。 ＜SNS等フォロワー数＞ Facebook：NPOクラブ 561、おおなみこなみ 553、X：566、ちばとぴ！ CHIBAKARA～ちばからチャンネル 4514	・各市の担当課との連携、協力を得て、周知に努めたが、募集定員の確保に至りづらかった。プロボノ事業は、初年度だったが、市の広報協力のおかげもあり、一定の周知ができた。

6. 他団体との連携・協力事業

①NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務

実績	成果・課題
・2024 年度理事会は 4 回（オンライン 2 回） （7/30, 10/22, 1/21, 4/22）開催した。会場は連合千葉会議室を提供いただいた。 ・1/21 理事会で法人の今後について協議、解散について提案し承認された。設立趣旨「団塊世代の地域デビューを支援」について、団塊世代は後期高齢者になり他の課題に移り、法人の役割は終了したことを確認した。 ・第 19 回定期総会（5/27）に引き続き、解散総会で残余財産の帰属、清算人の選任について承認される予定である。 ・理事会からはユニバーサル農業フェスタの継続開催の要望があり、実行委員会事務局は NPO クラブに引き継がれる。	多様な団体が主体的に協力、千葉県内でユニバーサル農業を広め、フェスタ開催により定着してきた。

②その他の組織、団体との連携

実績
公益財団法人ちばのWA地域づくり基金 ・理事会 4 回、臨時理事会 7 回オンライン開催した。 ・休眠預金等活用事業 2023 通常枠「若者就労困難者のための包括的就労支援事業」継続実施、実施 3 団体に資金助成、非資金的支援を提供。 ・事業指定助成プログラム 2 事業寄付募集中（ぴおねろの森、きみらぼ友の会） ・子どもの今と未来を支える基金の寄付募集と助成、成果報告会の開催。 ・遺贈寄付相談対応を実施。
生活クラブ千葉グループ協議会関連 ・社会的連帯経済研究誌の発行に向けて、編集委員会に協力した。 ・4 ブロックで地域協議会を開催することになり、実施している。 NPO クラブは千葉地域（鍋嶋）、印旛地域（勝又）、全体協議会 1/30（牧野） ・千葉グループ交流会、生活クラブ新年会に参加した。 ・グループで取り組む韓国研修会に赤木さんが参加した。（10/2～5）
・千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議幹事会に参加、研修会企画に協力した。 ・千葉県社会福祉協議会政策調整委員会 5/20, 10/28（牧野） ・千葉県地域ぐるみ福祉基金運営委員会 7/9（牧野） ・千葉県県民活動推進懇談会 10/17, 3/12（牧野） ・千葉市中央区中間報告会・研修講師 10/31、緑区報告会・研修講師 11/9 審査 2/22（鍋嶋） ・印西市まちづくりファンド選考委員会 5/18, 2/20、3/15（鍋嶋） ・松戸市協働のまちづくり協議会 4/19, 5/18, 7/29, 8/26, 10/4, 11/15,（牧野） ・習志野市協働推進委員会 4/13, 5/27, 11/7, 3/8（鍋嶋） ・市原市市民協働推進委員会 11/6（牧野） ・大網白里市住民協働事業審査会 4/24, 11/26（勝又） ・中央ろうきん助成一次審査 12/3、助成団体贈答式 5/31（鍋嶋） ・富里市協働推進委員会 6/24, 8/30, 10/25, 12/20、3/21（牧野） ・民ボラ会議 世話団体会議 4/12, 10/16,（来年度は静岡で 7/5, 6 開催予定） ・千葉県社会福祉センター指定管理者管理運営状況評価への外部有識者意見聴取 12/17（勝又） ・千葉ソーシャルビジネス支援ネットワーク会議 10/22 講演会＆相談会 10/28（牧野、鍋嶋）
・NPO 法人千葉県障害者就労事業振興センター監事（勝又） 監査 5/9、5/14 理事会、6/9 総会 ・NPO 法人ほっとハート理事会 監事 監査 5/10、総会 5/24（鍋嶋）

- ・生活クラブ生協千葉 監事（鍋嶋）、総代（赤木）
- ・公益財団法人ちばの WA 地域づくり基金理事長（牧野）
- ・認定 NPO 法人コミュニティケア街ねっと 理事会 4/3, 5/29, 総会 6/14, 10/3, 12/5（赤木）

Ⅱ. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
市民活動・市民事業に関する情報収集及び提供事業	【広報事業】 ・ニューズレター「つぎの一步くん」の発行 ・メールマガジン「通信・一步くん」の配信 ・団体ホームページ、ブログ、Facebook 等での情報発信	年 3 回 毎月 2 回 随時	当事務所 当事務所 当事務所	2 名 1 名 2 名	会員 121 名 他多数 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 会員 121 名および配信希望者 500 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
市民活動・市民事業に関する講座事業	【講座事業】 ・千葉県市民活動団体マネジメント事業 ・ちばし地域づくり大学校	9 月～2 月 9 月～2 月	千葉市 船橋市 千葉市	6 名 6 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 延べ 159 名の参加 千葉市および近隣市在住の市民一般 65 名
被災地・被災者支援事業	【福島県避難者支援事業】	通年	千葉県内	3 名	避難者 1,267 名 県内支援団体 8 団体
市民活動・市民事業を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言または援助事業	【相談事業】 ・事務所での相談対応 ・四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談 【四街道市みんなで地域づくりセンターの運営】 【多世代交流拠点おおなみなみの運営】 【SAVEJAPAN プロジェクト事業】 【プロボノ事業】 【千葉県地域ボランティア活動環境整備事業】 【NPO 法人地域創造ネットワークちばの事務局業務】 【八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業】 【自治体、他団体との連携・協力業務】 委員会等にNPOの立場で関わるとともに、講座等の講師を担った。	通年 通年 通年 通年 10 月～3 月 通年 5 月～3 月 通年 通年	当事務所 四街道市 四街道市 千葉市内 千葉県内 千葉県内 千葉県内 八街市	6 名 6 名 8 名 6 名 3 名 2 名 2 名 3 名 1 名	市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数 28 件 市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数 116 件 市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 入館者総数 2,244 名 市民一般、利用者総数約 900 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 1 団体、200 名 市民活動・市民事業を行う 6 団体、プロボノワーカー 19 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 10 団体 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 「ユニバーサル農業フェスタ」来場約 1,100 名 コーディネーター 4 名、市民一般 200 名 ・千葉県、四街道市、千葉市、大網白里市、 松戸市、印西市、習志野市、市原市、浦安市 ・千葉県社会福祉協議会 ・中間支援組織 ・中央ろうきん